

常任委員会行政視察報告

市議会では、市政の課題などに取り組むため、昨年11月、先進的な事業に取り組む自治体の行政視察をそれぞれの常任委員会で行いました。今回の行政視察を通じて得た各市の事業内容については、今後も市議会や常任委員会として、さらなる市政の発展に取り組んでまいります。

総務産業建設常任委員会

平成30年11月15日(木)
11月16日(金)

◎富山県魚津市

●インバウンドの取り組み

【事業の概要】

富山県の外国人観光客で最も多く訪れている国は、富山空港への直行便のある「台湾」となっており、その行き先のほとんどが「立山・黒部アルペンルート」と「黒部峡谷鉄道」であった。ちょうど中間点に位置する魚津市におい

【事業の内容】

ては、地理的優位性を活かした外国人観光客の増加を図るため、ターゲットを「台湾」に絞り、平成27年11月の台湾現地でのプロモーション活動を皮切りに事業を実施した。平成28年1月には市長、議長、商工会議所、観光協会、農協、漁協、自治連絡協議会飲食業組合、他9団体によって「台湾インバウンド実行委員会」を設立し、年度ごとに、受入体制の整備、台湾現地でのPR活動、台湾メディアの招聘、現地雑誌への掲載等、台湾からの観光客誘客を図るため、さまざまな事業を展開している。

事業の大きな特色として、富山県を訪れる外国人観光客の多くが台湾人であったことから、台湾にターゲットを絞った事業を展開している。また、台北国際旅行博に出展した際、あえて中小規模の旅行者者団体にターゲットを絞り、現地旅行業協会と面

識を持ち、関係構築を行い、小規模ながら観光客の送客を実現。現在も機会をみては商談を実施している。

その他、ワーキングホリデーを活用し、台湾人女性を登用。台湾人が通訳・翻訳等の業務を担うことにより、現地活動や観光PRの迅速かつ効果的な業務の遂行を実現した。

【主な事業実施事例】

- 受入体制の整備
- 台湾現地でのPR活動
- 台湾メディアの招聘
- 現地雑誌掲載

◎富山県富山市

●セーフ&環境スマートモデル街区整備事業

【事業の概要】

富山市では高い道路整備率や強い戸建て志向を背景に、市街地が外延的に拡大し、都市管理コストの上昇や中心市街地の衰退が懸念されていた。また、自動車保有率も高く、その影響から公共交通機関の衰退も著しい状況にあったことから、公共交通を活性化させ、その沿線に居住・商業

・業務・文化などの都市機能を集積させるといふ公共交通機関を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを推進している。

コンパクトなまちづくりを推進する中で、そのまちづくりを基本とした環境政策も推し進め、平成20年7月には環境モデル都市に、平成23年12月には環境未来都市に選定され、平成24年5月に富山市環境未来都市計画を策定。平成26年6月に計画の更新があり、その際の「事業として実施した。

事業は、公共交通沿線の低未利用地等において、環境に優しく、安全・安心で快適な生活を享受できるモデル街区を整備し、公共交通沿線での利便性の高い暮らしや環境等に配慮した質の高い住宅供給の促進を図ることを目的としている。

「コンパクトなまちづくりの推進」「低炭素省エネルギーに配慮したまちづくり」「官民連携による質の高い生活環境の提供」を事業プロポーザル要項として募集し、選定事

業者へ旧豊田小学校跡地を売却。平成29年4月より区内内の建設工事に着手し、同年10月より分譲を開始した。

【街区内に整備された主な機能】

- ①街区内の住宅に、太陽光発電システムと家庭用リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池を搭載
- ②災害時等の防災拠点となる公民館等に光ダクトを設置し、エネルギー消費を抑えるとともに、太陽光発電システムなどを設置
- ③街区内の公園にリチウムイオン蓄電池、防災倉庫、雨水タンクなどを設置し、災害対策機能を整備
- ④まち全体のエネルギーの見える化システムの導入
- ⑤公共施設で発電された電力を街区内で電力を共有する太陽光発電システムを導入
- ⑥災害時の二次被害を防止するため、街区内を無電柱化し整備